

① 生徒のアンケートより

- ・全体の89.9%が「学校は楽しい」と考えています。特に、1年生の93.5%が肯定的に考えており、行事などを通じて、子供たち同士が絆を深めている様子が見られます。
- ・全体の93%が「自分の意欲や努力を認めてくれる先生がいる」と考えていますが、「心配事や悩み事があるとき、相談できる先生がいる」の肯定的な割合が75.3%と低くなります。カウンセリングマインドを意識したり、時間を確保したりするなどして相談しやすい体制作りに努めていきたいと思えます。
- ・「学びを楽しんでいる」という問いに対して、2年生の約20%が否定的に考えています。自習が多かったことが理由の一つであると考えておりますので、教職員が一丸となって、学びを止めない体制を作っていくとともに、授業改善に励んでいきます。
- ・3年生の85%が「授業や学校行事の場面で「語り合う」を意識することができた」に対して、肯定的な回答をしています。最上級生として、生徒会や学校行事など多くの場面で語り合う時間があったからだと思います。授業においても、自分の思いを発信する生徒が非常に多く見られ、「さすが、3年生」と感じます。1, 2年生も今後の運動会や合唱練習などの学校行事に向けて、「語り合う」場面を意識し、自己開示のできる集団を目指していきたいです。
- ・全体の97.4%が「ICT機器を授業の中で活用している」と考えています。小学生の頃から様々なツールやICTの利活用について学習していることが要因の一つとして挙げられます。授業内でも積極的に活用してきた成果であると考えます。しかし、使い方については心配な面が多いため、情報モラルやタブレットの使用ルールに関して、継続的な啓蒙活動をしていく必要があると思えます。
- ・「自分で計画し、自分の進路に向けて主体的に学習した」という問いに対して、肯定的な意見が68.9%と非常に低いです。3年生は、進路決定に向けた面談を常に行っているため、今後さらに自身の進路について考え、主体的に学習する時間が増えると期待しています。1, 2年生も、来年度、再来年度に向けて、キャリア学習を充実させ、自分自身を見つめる時間を確保していきます。
- ・「読書をする習慣がついている」の割合が全体の42.4%と非常に低いです。朝の登校が遅くなり、朝読書の時間がなくなったことが要因として挙げられます。読書の大切さを伝え、余暇の時間にスマホより本を手取る時間を増やせるよう、国語科中心に呼び掛けていきたいと思えます。
- ・「ボランティアや地域行事に積極的に参加した」の割合が全体の37.7%と非常に低いです。コロナ禍でボランティア活動自体が減少しており、未だ活動に制限があるからだと思います。今後、地域と連携していく中でボランティア活動を紹介できる機会を増やしていきたいです。

② 生徒の意見に関する回答

- ・「縦割り行事をもっと増やしてほしい」の意見に向けて、運動会や合唱コンクールにおいて色別集会などの縦割り活動を行い、異学年間交流の和を深めていきます。
- ・「トイレを変えてほしい」という意見が毎年出ています。トイレの修繕、洋式化は、富士市の税金で行われ、順番に行われます。岩松中学校の順番はもう少し後となります。本校のトイレは古いですが、清掃を丁寧に行ったり、きれいに使う意識を持ったりすることで清潔を保っていきましょう。
- ・「部活動の時間を増やしてほしい」という意見がありました。現在、富士市では、生徒の健康を第一に考え、平均1時間程度の練習にしている学校が増えています。長くやれば強くなるというものではありません。実際に部活動時間が長いときに、怪我の生徒が増加することが分かっています。集中して練習する習慣を付けていきましょう。また、富士市中学校総合体育大会の2週間前は、来年度も部活動強化週間を設定し、充実した活動ができるように考えています。
- ・「校舎が古く、ゴキブリが出る」という意見があったため、夏休みに駆除用品を廊下に置いています。
- ・「ジャージの改善」に関する意見が毎年出ています。来年度、制服が変更されますので、一区切りがつかます。生徒からジャージの改善に関して意見が出たら、時間がかかるかもしれませんが、少しずつ準備をしていけるとおもいます。

③ 保護者のアンケートより

- ・「安心してわが子を任せられる学校である」の問いに対し、95.1%の保護者が肯定的に考えてくださっています。心より感謝を申し上げます。今後も、学校と保護者が手を取り合い、健やかな子供たちの未来に向けて連携していきましょう。
- ・「わが子は心配や悩み事があるとき、教師に相談している」の問いに対し、肯定的な意見が63.8%と低い結果でした。頼りになる教職員、子供たちの心に寄り添う関係性を目指し、相談する時間を十分に確保するよう努めてまいります。
- ・「わが子とスマホなどの家庭でのルールを決めている」の問いに対し、1年生が83.6%、2年生が74.6%、3年生が67.6%と学年が上がるにつれ、割合が低くなっています。SNSのトラブルは後を絶ちません。トラブルを防ぐために、家庭でのルールづくりが効果的です。
- ・「わが子は自分から進んで家庭学習に取り組むことができる」の問いに対し、肯定的な意見が66.6%と低い割合でした。学校でも、子供たちにとって有効な学習方法を提示していきますので、保護者様のご協力をお願いします。

④ 保護者の意見に対する回答

- ・「制服を着る機会がない」というご意見がありました。また、学年によって、制服を着る日が違うこともご指摘がありました。後期より、始業式・終業式・卒業式などの儀式的行事、テスト、合唱コンクールなどの日は制服登校を考えております。子供たちの多様性を第一に考えておりますので、制服の着用に関して困り感のある場合は、遠慮なくご相談ください。
- ・2年生の自習が多くなってしまったこと、ご連絡が遅くなってしまったことに関するご意見がありました。大変申し訳ございませんでした。現在、代替教員によって、授業を行い、進めております。不安な点がありましたら、遠慮なくご相談ください。
- ・「学校行事をコロナ禍前に戻してもらいたい。」というご意見がございました。来年度の学校行事に向けて、文部科学省の指針を参考に、今後検討してまいります。運動会の時期は、熱中症などを考慮していく必要があるため、コロナ禍前と同じ時期にすることは難しいかと思っております。